

産経新聞 24.2.17

## 仲裁委提案避けられず 慰安婦で駐日韓国大使

韓国の申珏秀駐日大使は17日、元従軍慰安婦の問題について、日本政府が日韓協議に応じない場合、韓国政府として1965年の日韓請求権協定に基づく仲裁委員会の設置を日本に求めることは避けられないとの立場を示唆した。ソウル市内で日本記者団に語った。

大使は、仲裁委員会に関し「現時点で決まっていることはない」とする一方で、元慰安婦の賠償請求権に関する措置を政府が講じてこなかったのは違憲だとする昨年8月の韓国憲法裁判所の判断に対する「政府の責任がある」として、このまま放置できない事情を説明した。

さらに慰安婦問題で韓国政府の基本目標は「日本政府が法的に責任を認めることだ」と指摘。「被害者と、その支援団体が納得できる解決策を講じる必要があるのではないか」と述べた。(共同)